

生活支援ハウス 愛称を募集!

7月1日付で、高齢者福祉センター（野崎貞信 所長・社会福祉法人普代福祉会施設長）が「生活支援ハウス」に名称を変更しました。

生活支援ハウスは、病弱などのため、一人暮らしや夫婦だけの生活に不安のある高齢者が、自炊しながら安心して明るい生活を送れるように支援する施設ですが、親しみある、すてきなハウスにするため愛称を次のとおり募集します。

▶応募方法...官製はがきで郵送。または、直接提出してください

▶応募期間...平成13年8月10日（当日消印有効）

▶提出先...役場保健福祉課まで

▶審査...複数の審査委員で決定

▶発表...受賞者には直接通知

▶賞...優秀賞（賞状と2千円相当の図書券）1点。

佳作（1千円相当の図書券）2点。優秀賞、佳作に決まった愛称が応募者多数の場合、抽選で決定

▶問い合わせ先...役場保健福祉課（☎35-2114 内線144）へどうぞ

仙台⇄八戸 1日1往復

リクス・シーライナー運行



運行期間 7/28土 ▶ 8/12日

上り/八戸発8:57 普代発10:42 仙台着18:14
下り/仙台発8:51 普代着15:57 八戸着18:39
運賃/普代⇄仙台 6,540円（小学生以下半額）

問い合わせ是三陸鉄道普代駅（☎392411）または役場総務課（☎352111内線112）までどうぞ。

村長旗争奪地区対抗 球技大会

▶とき 8月14・15日

▶問い合わせ先 役場総務課
（☎35-2111 内線113へ）

六

月十三日、「照明灯点灯式」が村民テニスコートで行われました。

平成十二年度、屋外体育施設照明灯設置工事（村単独事業）、工事費百八十九万円で村民グラウンドに六基、村民テニスコートに四基とそれぞれ照明灯が設置されました。

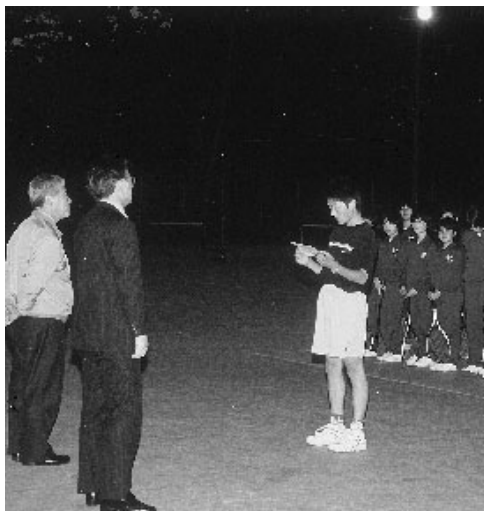
この工事は、(有)北部電気工事（代表高橋喜一さん・釜石市）の「電柱十三本の奇贈」と工事請負者である金子電気商会（代表金子昇さん・旭日区）の「労務費の提供」で完成したものです。

村民グラウンド、村民テニスコートの照明灯設置はスポーツ

念願だった照明灯！ 村民グラウンドなど2施設に設置

振興のためにも必要な設備で、中学生などからは、「日ごろ「照明灯が欲しい」とささやかれ続けていた待ちに待った照明灯の点灯です。

深渡宏村長は、「照明灯が設備されたとはいつても完全なものではなく、まだまだ明かりが不足です。照明不足のためボールが見えにくい難点はあるとは



照明灯点灯式で決意を述べる磯辺部長（中央）

思いですが、昨年の実績に自信を持ち県大会出場を目指し頑張

ってください」と中学生ソフトテニス部（男子の部）磯辺直輝部長・部員二十三人・

女子の部）嘉藤暢子部長・同部員二十五人）参加部員たちを激励、さらに深渡村長は「村民の皆さんにも照明灯のことを知っていただき施設を利用してほしいと思います。工事に当たって多大なるご協力をいただいた北

部電気工事さんと金子電気商会さんには感謝致します」と言葉結びました。

点灯式に参加した普代中ソフトテニス部代表の磯辺部長は「夕暮れ時はボールが一番見えにくく、コートでの練習がとても大変でした。照明が点灯したことはとても嬉しいです。先輩たちが築いた伝統を引き継ぎ、これからも一生懸命頑張ります」と決意も新たに、きっぱりと宣言してくれました。

式終了後、普代村テニス協会（熊谷聡会長・会員十人）、普代中ソフトテニス部（男子の部・女子の部）の参加メンバーで練習、終了しました。